

林大使挨拶(DF議会「日伯友好130周年記念式典」)

(2025年11月3日(月)19時00分～、於:DF議会、ポルトガル語5分)

チアゴ・マンゾーニDF議会議員、パウロ・モラエス伯外務省日本・朝鮮半島・太平洋局長、ロバート・タカタ駐ブラジルドミニカ共和国大使、私の友人であるセイイチ・イワノ氏、レスリー・イシイ氏  
ご列席の皆様

こんばんは。

2021年12月に大使として着任して以来、日伯関係のさらなる発展のために日々取り組んで参りました。私は12月にブラジリアでの4年の任期を終えることとなりましたが、両国関係にとって重要な節目に、当地で職務を果たすことができたのも、ひとえにご臨席の皆様、日系社会をはじめ、多くの皆様からの温かいご支援の賜です。本日DF議会からMoção de Louvor賞を賜りましたことを大変光栄に感じると共に、お世話になりました関係者の皆様一人一人に、心より感謝申し上げます。

本日は、日伯外交樹立130周年という節目にこのような式典を開催いただき心よりうれしく思います。チアゴ・マンゾーニ議員はじめ、皆様に深く御礼申し上げます。

日本とDFの関係を語る上で、日系社会の存在は欠かせません。1908年に最初の日本人移住者がサントス港に到着し、1957年にはDFにも移住が始まりました。以来、日系の皆様は世代を超えてブラジル社会の発展に貢献されてきました。現在では約270万人とされる世界最大の海外日系コミュニティとなり、中南米で最も活発な日系社会として、ブラジル国内で日本文化や価値観を伝え、両国の絆をより強固なものとしてくださっています。日系人の皆様に対し、心からの敬意を表します。また、日本人移住者・日系人を温かく迎えてくださったブラジル社会へも厚く感謝を申し上げます。

DFに根付く多文化を尊重する風土が、相互理解を促進し、今日の強固な日伯関係の礎となっています。DF議会、DF政府の皆様に様々な分野で協力を得ていることにこの場を借りて感謝申し上げます。

「ブラジリア日本祭り」や「アニメ・サミット」、日本映画祭をはじめとするイベントの開催にDF政府所有施設を提供いただき、また日本語バイリンガル校の早期実現に向けても力強いご支援をいただきました。

昨年には、チアゴ・マンゾーニ議員の提案により、法律第7472号がDF議会で成立しました。この法律により、ミカミ日本食材店、ダイソー、ウマミ日本料理店、モンタロウ寿司、ザ・コーヒー等の商店が並ぶ南414／415通りが「日本通り(Rua Japonesa)」として認定されました。今後、同通りをサンパウロのリベルダーヂ通りのようにしていきたいと考えております。

さらに、本年6月の佳子内親王殿下がブラジリアにご訪問された際には、DF政府が管理する公共物であるサッカースタジアム、テレビ塔、国立図書館、国立美術館が日の丸の赤色にライトアップされました。また、私の目標であったDFにおけるバイリンガル校の設置も実現することができました。こうしたDFにおける様々な日伯友好の事業は、DF関係者の両国関係に対する深い理解と支援があつてこそ実現できました。

日伯外交樹立130周年を契機に、次の10年に向けて両国関係がますます発展するよう、大使館一同力を尽くします。DF政府、DF議会の皆様と連携しながら、日・DF関係のさらなる深化に向けても、取り組んでまいります。

本日は誠にありがとうございました。

(了)